

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅲ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	杉井 将俊	実務経験と その関連資格	社会福祉士、指定障害者支援施設職員、サービス管理責任者			
《授業科目における学習内容》						
障害者児を取り巻く環境と福祉サービスの状況や変遷、利用等の理解 多岐にわたる障害者児の障害特性、心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験 70% 出席状況 20% 業(演習含む) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座 「生活支援技術Ⅲ」(中央法規出版) 最 新 介護福祉士養成講座 「障害の理解」(中法法規出版) 最新 介護福祉全書 「障害の理解」(メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書範囲の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
講義や福祉、実習での経験に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問してください。 講義において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	今後の授業の展開を理解し、障害、疾病について現状での学習状況を整理できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、障害に応じた支援とは			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	身体障害のある方の状態像を理解できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	これまでの学習の振り返り 生活や環境の把握について			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	肢体不自由の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	肢体不自由のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	視覚障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	視覚障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	聴覚、言語障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	聴覚、言語障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚、聴覚障害(重複)の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	重複障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	身体障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	身体障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	内部障害(心臓機能)の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	心臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	内部障害(呼吸器機能)の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	呼吸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	身体障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	身体障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について②(家族との関わり)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	内部障害(腎臓機能)の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	腎臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	内部障害(膀胱、直腸機能)の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	膀胱、直腸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアが必要な方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	医療的ケアが必要な方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内部障害(小腸機能)の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	小腸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる		
		各コマにおける授業予定	試験対策		

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅲ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	杉井 将俊	実務経験と その関連資格	社会福祉士、指定障害者支援施設職員、サービス管理責任者			
《授業科目における学習内容》						
障害者児を取り巻く環境と福祉サービスの状況や変遷、利用等の理解 多岐にわたる障害者児の障害特性、心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験 70% 出席状況 20% 業(演習含む) 10%						
2. 3. 授						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座 「生活支援技術Ⅲ」(中央法規出版) 最 新 介護福祉士養成講座 「障害の理解」(中法法規出版) 最新 介護福祉全書 「障害の理解」(メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書範囲の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
講義や福祉、実習での経験に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問してください。 講義において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	内部障害(免疫機能)の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる		教科書		
	各コマに おける 授業予定	免疫機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	内部障害(肝臓機能)の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる		教科書		
	各コマに おける 授業予定	肝臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	重症心身障害の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる		教科書		
	各コマに おける 授業予定	重症心身障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	障害に応じた補装具、日常生活用具の概要と活用について理解できる		教科書 講義時配付資料		
	各コマに おける 授業予定	補装具、日常生活用具の活用に関わる諸手続や管理等について				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	知的障害の概要を理解し、状態に応じた関わりを理解できる		教科書		
	各コマに おける 授業予定	知的障害のある方への関わり方や特性や行動に応じた支援について				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	精神障害の概要を理解し、状態に応じた関わりを理解できる		教科書	
	各コマにおける授業予定	精神障害、疾患のある方への関わり方や支援について			
第22回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる		教科書	
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害のある方の特性や行動に応じた関わりや支援について			
第23回	授業を通じての到達目標	発達障害の概要を理解し、特性に応じた支援を理解できる		教科書	
	各コマにおける授業予定	発達障害のある方の状態や特性に合わせた関わり方や支援について			
第24回	授業を通じての到達目標	知的、精神障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる		教科書	
	各コマにおける授業予定	知的、精神障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について			
第25回	授業を通じての到達目標	難病(筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病)の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる		教科書 講義時配付資料	
	各コマにおける授業予定	難病(筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病)のある方の状態や特性に合わせた関わり方や支援について			
第26回	授業を通じての到達目標	難病(関節リウマチ、筋ジストロフィー)の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる		教科書	
	各コマにおける授業予定	難病(関節リウマチ、筋ジストロフィー)のある方の状態や特性に合わせた関わり方や支援について			
第27回	授業を通じての到達目標	難病のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる		教科書	
	各コマにおける授業予定	難病のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について			
第28回	授業を通じての到達目標	障害のある子どもとその家族の関わりや環境を理解し、状況の把握や支援について考えることができる		教科書 講義時配付資料	
	各コマにおける授業予定	障害のある子どもへの関わり方や家族を含めた支援内容について			
第29回	授業を通じての到達目標	障害の状態像の適切な理解ができ、支援の実践と関わり方が理解できる		教科書	
	各コマにおける授業予定	総括講義			
第30回	授業を通じての到達目標	後期における授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる			
	各コマにおける授業予定	試験t対策			